2026年3月期

（2025年4月1日 ～ 2026年3月31日）

決算補足資料

2026年5月11日

ENOMOTO Co.,Ltd.

東証スタンダード　証券コード:6928

© ENOMOTO

目次

（1）　2026年3月期決算　P.3

（2）　2027年3月期業績予想　P.9

(1)2026年3月期決算

株式会社エノモト

業績報告（前期比）

ENOMOTO Co.,Ltd.

- 売上高は従来予想の300億円を上回る304億円、営業利益は期初計画の10億円や修正計画16億円を上回る16.5億円
- オプト用リードフレームのハイエンドLED向け、コネクタ用部品のスマートフォン向けの好調により増収
- 利益面では、工場稼働率の改善やメッキの内製化効果により収益力が向上。

単位：百万円	2024/3期		2025/3期		2026/3期		期比較
	実績	売上比（%）	実績	売上比（%）	実績	売上比（%）	前期比（%）
売上高	25,244	100.0	26,880	100.0	**30,415**	**100.0**	+13.2
売上総利益	2,654	10.5	3,147	11.7	**4,546**	**14.9**	+44.5
販管費	2,494	9.9	2,528	9.4	**2,896**	**9.5**	+14.5
営業利益	160	0.6	618	2.3	**1,650**	**5.4**	+166.8
為替差損益	17	0.1	△65	-	**1**	**-**	-
受取利息	56	0.2	86	0.3	**75**	**0.2**	△12.5
経常利益	291	1.2	669	2.5	**1,766**	**5.8**	+164.0
当期純利益	121	0.5	447	1.7	**1,231**	**4.0**	+174.9
1株当たり純利益	18.16円	-	68.51円	-	**191.21円**	**-**	
1株当たり配当金	70.0円		71.0円	-	**75.0円**	**-**	

四半期別業績報告

ENOMOTO Co.,Ltd.

- 通期では、パワー半導体の車載向け、オプト用リードフレーム、コネクタ用部品を中心に増収
  スマートフォンの新規モデル向けは、年間を通じて高水準で推移
- 工場稼働率やメッキ内製化の効果により、収益力が向上

単位：百万円	2025/3期					2026/3期					
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	前同比（%）
売上高	6,506	6,912	6,917	6,543	**26,880**	7,146	7,505	7,758	**8,004**	**30,415**	+22.3
売上総利益	749	902	877	617	**3,147**	940	1,069	1,242	**1,293**	**4,546**	+109.4
販管費	645	648	620	614	**2,528**	629	651	677	**938**	**2,896**	+52.7
営業利益	104	253	256	3	**618**	311	418	565	**355**	**1,650**	-
為替差損益	5	△61	35	△45	**△65**	12	0	5	**△17**	**1**	-
経常利益	135	228	332	△26	**669**	336	474	579	**375**	**1,766**	-
四半期純利益	47	223	140	37	**447**	263	325	390	**252**	**1,231**	+574.4

製品群別四半期売上高

ENOMOTO Co.,Ltd.

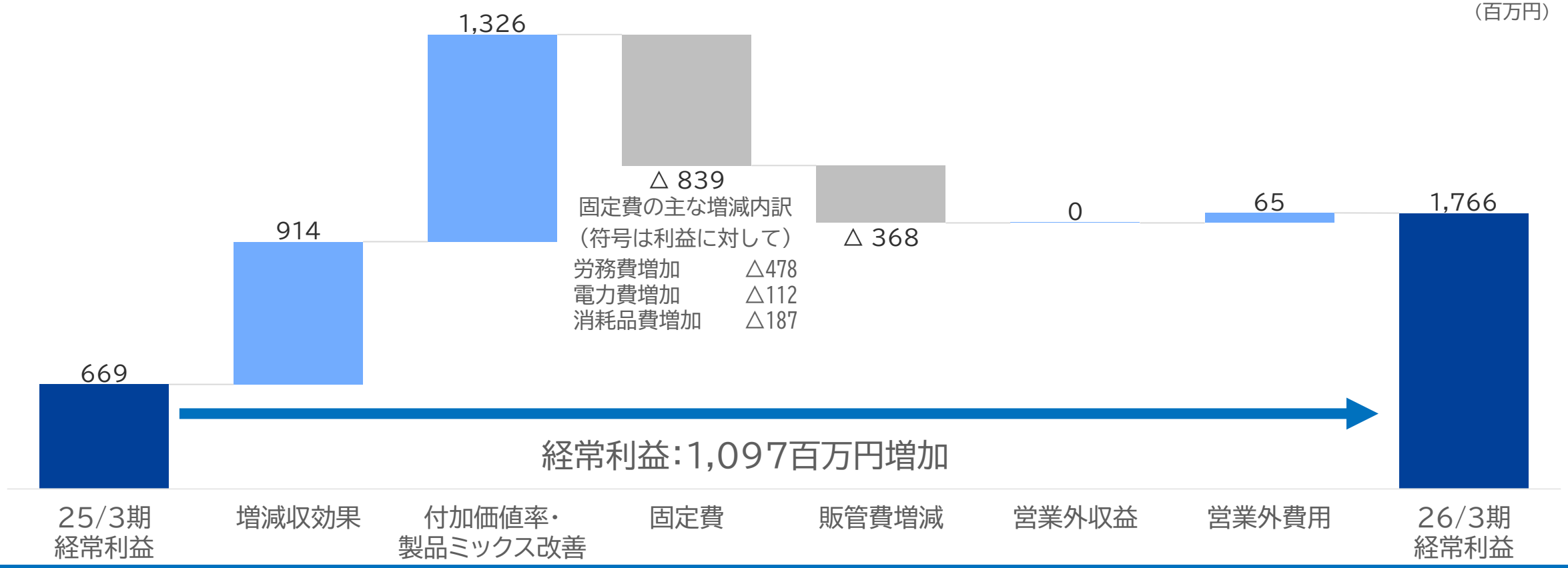
- 期を通じて、パワー半導体用リードフレームは車載向けが緩やかながら回復した一方で、民生・産業機器向けは在庫調整が続く
- オプト用リードフレームはハイエンドLED向け製品の量産が本格化し、増加傾向が継続
- コネクタ用部品は、スマートフォン向けの4Q季節要因の下落幅が例年より小さく、車載向けも堅調に推移

単位：百万円	2025/3期					2026/3期						
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q	前同比（%）	通期	通期比（%）
パワー半導体用リードフレーム	2,662	2,734	2,738	2,637	**10,771**	2,615	2,535	2,526	**2,474**	△6.2	**10,152**	△5.8
オプト用リードフレーム	728	742	901	998	**3,371**	1,108	1,205	1,226	**1,649**	+65.2	**5,190**	+54.0
コネクタ用部品	2,959	3,248	3,114	2,763	**12,085**	3,264	3,621	3,832	**3,693**	+33. 7	**14,411**	+19.2
その他	156	188	163	144	**651**	158	142	173	**186**	+29.5	**661**	+1.5
合計	6,506	6,912	6,917	6,543	**26,880**	7,146	7,505	7,758	**8,004**	+22. 3	**30,415**	+13.2

経常利益増減要因

ENOMOTO Co.,Ltd.

- 増減収効果　　オプト用リードフレーム及びマイクロコネクタ等が増収
- 付加価値率　　①メッキの内製化による、付加価値の取り込み
  ②オプト用リードフレームのハイエンド品の増加
- 固定費　　①労務費は賃上げと生産高上昇に伴い増加
  ②生産高上昇に伴い、電力費・消耗品費が増加



用途別量産品売上構成比

ENOMOTO Co.,Ltd.

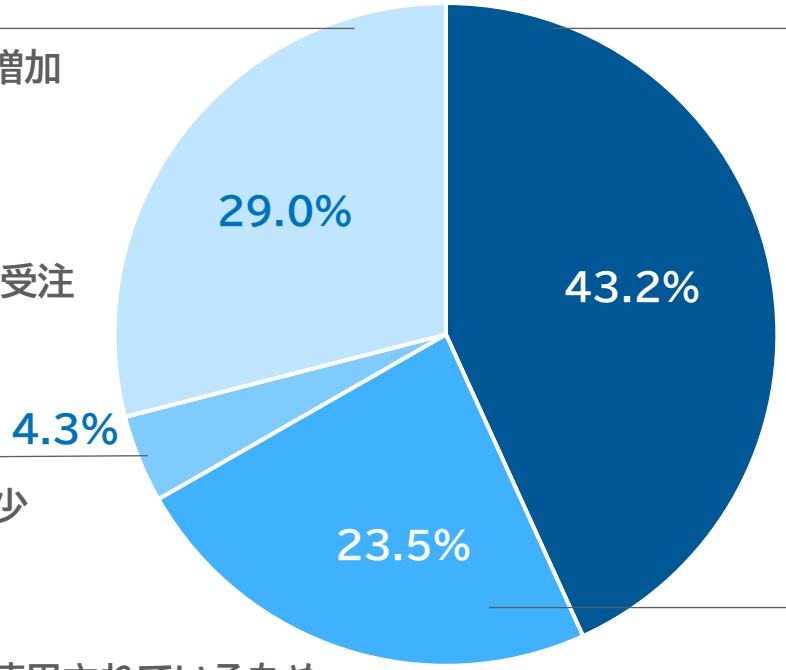
- 車載はパワー半導体用リードフレームが回復、エアバッグ向け堅調。ハイエンドLED用リードフレーム量産開始
- スマートフォン向けも現行モデル中心に需要堅調
- 民生・産機・その他はハイエンドLED用リードフレームの量産が本格化して増加

民生・産機・その他

- 構成比は前期の28.8%から　0.2pt増加
  売上高前期比　15.6%増加
- LED用リードフレームはハイエンド品
  出荷開始により増加
- 新たな用途に向けたコネクタ用部品の受注
  による増加

ウェアラブル

- 構成比は前期の6.2%から　1.9pt減少
  売上高前期比　21.4%減少
- 新製品の立ち上げが逐次進行中
- 新製品の一部がスマートフォン向けに使用されているため
  構成比が低下
- 引き続き、中期的な需要は堅調と予測



車載

- 構成比は前期の42.5%から　0.7pt増加
  売上高前期比　16.4%増加
- xEV向けパワー半導体用リードフレームの回復
- エアバッグ向けコネクタ等は堅調に推移
- 車載向けLED用リードフレーム量産開始

スマートフォン

- 構成比は前期の22.5%から　1.0pt増加
  売上高前期比　19.3%増加
- スマートフォン向けコネクタ用部品の好調

(2)2027年3月期業績予想

株式会社エノモト

業績予想

ENOMOTO Co.,Ltd.

- オプト用リードフレームの増収を主因に、売上高は5.2%増収、営業利益も21.2%増益を予想
- オプト用リードフレームはハイエンド品が順次量産開始、一方でパワー半導体用リードフレームは民生・産業機器向けが調整
- リードフレーム、コネクタ用部品とも、引き続きメッキや樹脂成形が必要な高付加価値製品をターゲットに拡販

単位：百万円	2025/3期		2026/3期		2027/3期		期比較
	実績	売上比(%)	実績	売上比(%)	予想	売上比(%)	前期比(%)
売上高	26,880	100.0	30,415	100.0	32,000	100.0	+5.2
売上総利益	3,147	11.7	4,546	14.9	4,700	14.7	+3.4
販管費	2,528	9.4	2,896	9.5	2,700	8.4	△6.8
営業利益	618	2.3	1,650	5.4	2,000	6.3	+21.2
経常利益	669	2.5	1,766	5.8	2,000	6.3	+13.2
当期純利益	447	1.7	1,231	4.0	1,400	4.4	+13.7
1株当たり当期純利益	68.51円	-	191.21円	-	217.38円	-	-
配当金	71.0円	-	75.0円	-	77.0円	-	-

製品群別売上高予想

ENOMOTO Co.,Ltd.

- パワー半導体向けリードフレームは中国の民生・産業機器向けが調整継続、自動車向けは緩やかながら回復
- オプト用リードフレームはハイエンド品が車載向けを中心に順次量産開始の予定で、着実な成長が続く
- コネクタ用部品は全体的に堅調な予測、スマートフォン向けは季節調整はあるが、ウェアラブル端末向けの更なる成長に期待

単位：百万円	2025/3期		2026/3期		2027/3期		
	実績	構成比（%）	実績	構成比（%）	予想	構成比（%）	前期比（%）
パワー半導体用リードフレーム	10,771	40.1	**10,152**	33.4	**10,000**	**31.3**	△1.5
オプト用リードフレーム	3,371	12.5	**5,190**	17.0	**7,000**	**21.9**	+34.9
コネクタ用部品	12,085	45.0	**14,411**	47.4	**14,500**	**45.3**	+0.6
その他	651	2.4	**661**	2.2	**500**	**1.5**	△24.4
合計	26,880	100.0	**30,415**	100.0	**32,000**	**100.0**	+5.2

用途別の方向性

ENOMOTO Co.,Ltd.

- パワー半導体向けリードフレームは足下は車載が緩やかながら回復、中国向けの民生・産業機器向けが調整継続
- オプト用リードフレームは新規の受注案件が順次量産・出荷開始で確実な成長
- コネクタ用部品は、例年通り上期はモバイルの新モデル向けの出荷があり好調、下期は季節調整を見込む

単位：百万円 矢印：前年同期比での方向性	2026/3期		2027/3期			下期以降の方向性
	上期	下期	上期	下期	通期	
パワー半導体用リードフレーム	5,150	5,001			10,000	
車載向け	⇨	⇨	⇨	⇨		EV市場は回復の兆候はあるものの不確実。 クリップボンディングタイプのシェア拡大を図る。
民生・産機向け	↘	↘	⇨	⇨		調整（底バイ）局面が継続。回復時期は不透明。
オプト用リードフレーム	2,313	2,876			7,000	
車載向け	↗	↗	↗	↗		新規受注のハイエンド品の量産が本格化し、増加。
民生向け	↗	↗	⇨	⇨		新規受注のハイエンド品の生産は安定的な需要を 見込む。新規製品によっては上振れも。
コネクタ用部品	6,886	7, 525			14,500	
車載向け	↗	⇨	⇨	⇨		ADAS拡大状況しだいで上振れも。
モバイル向け	↗	↗	↗	↘		新モデルの販売は、上期ピークの見込み。季節調整で 下期は減少予測も、需要による上振れも。
ウェアラブル向け	⇨	⇨	⇨	↗		新たなデバイスの市場拡大期待。中期的な需要は堅調 と予想。

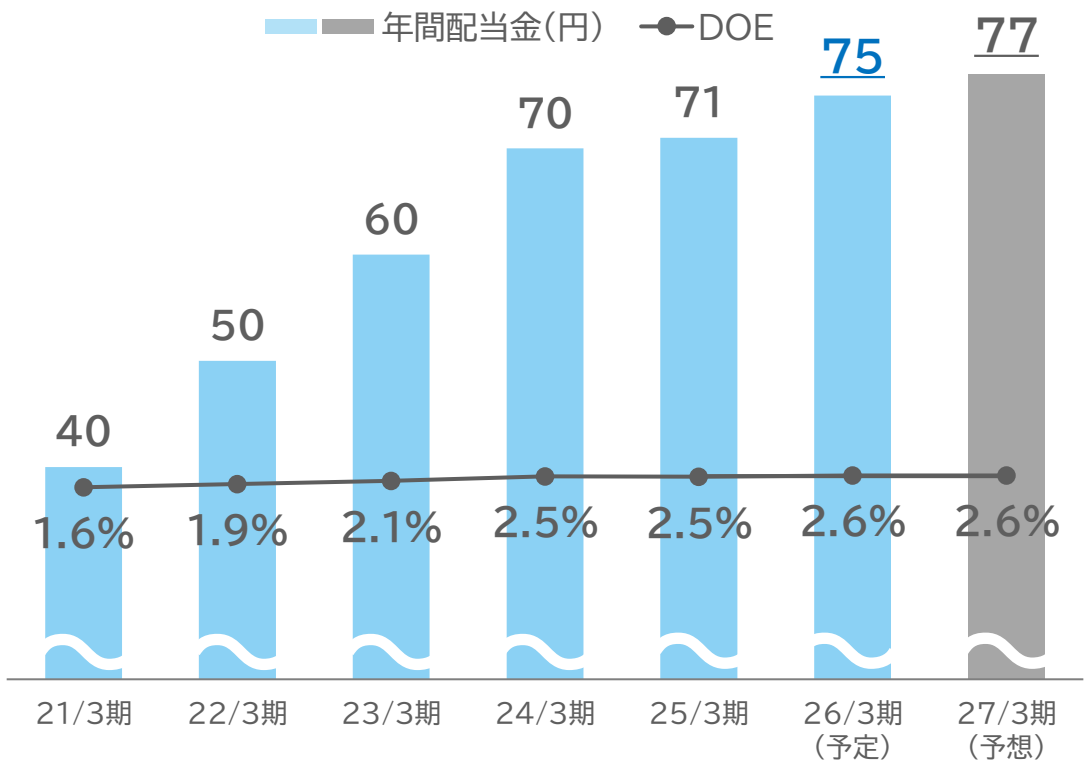
株主還元

- 2023年5月に配当方針をDOE2.5%以上に変更、26年3月期の配当は71円の期初予想を2月に75円に増配修正
- 2027年3月期は中期経営計画でDOE2.5%以上となる77円の配当を計画しており、当初計画通りの配当を予想

2024年3月期以降の配当方針

- **DOE2.5%以上**を配当の数値基準とする
- 中期経営計画「2nd STEP」でも、最適な自己資本水準や短期的な利益増加の反映方法を総合的に勘案しつつ、増配トレンドを継続する
- **2027年3月期は77円配当**を予定（DOE2.5%　DOE（自己資本配当率）＝年間配当額 / 株主資本）

配当金・DOEの推移



ENOMOTO Co.,Ltd.

注意事項

事業の展望、業績予想等の将来の動向にかかる記載につきましては、歴史的事実ではないため、不確定な要素を含んでおります。

現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があることをご了承願います。